

令和 2 年度の活動予定

令和2年度の活動予定(広範囲の機関や学校との調整が必要なもの)

様式2-1

報告機関	主催機関	担当窓口	場所	開催時期	対象	内容(概要)	備考(動員の希望等)
	阿賀野川河川事務所	総務課 本間一秋	未定	10月	新潟県立新潟工業高等学校 生徒及び保護者	生徒及び保護者を対象とした現場見学会	
	阿賀野川河川事務所	副所長 保要 牧央	未定	未定	未定	夏期実習生を受け入れ、業務を体験してもらう。	
	阿賀野川河川事務所	副所長 保要 牧央	未定	未定	未定	砂防事業と地域との関係等を学び考えることを目的に学生を受け入れ、体験を行う。(キャンプ砂防)	
	北陸地方整備局建設部	建設業適正契約推進官 計画・建設産業課 連携推進係	県内の申込み学校の体育館等	令和2年7月～令和3年3月の間	県内の小・中・高校の生徒及び教員	出前講座の実施 建設業(専門工事業)の作業体験、職人からの紹介による建設業の魅力発信	
	新潟県立新潟テクノスクール	【新潟テクノスクール】 訓練第一課 【北陸地整】 建設業適正契約推進官	新潟テクノスクール	未定	主に小学生	「ものづくり広場」への出展 新潟県建設専門工事業団体連合会による体験ブースの出展を通じて、技能の大切さとその魅力をアピール	
	三国川ダム管理所	中嶋 邦博	三国川ダム管理所	5月～11月	南魚沼市内の小学校	南魚沼市の小学生を対象とした三国川ダム見学会	
	新潟県建設業協会	事業部	信濃川大河津資料館等	9～11月	新潟市内の小学校	現場見学会	
	新潟県建設業協会	事業部	未定	7～10月	塩沢商工高等学校	現場見学会	
	新潟県建設業協会	事業部	未定	7～10月	上越総合技術高等学校	現場見学会	
	新潟県建設業協会	事業部	未定	7～10月	新潟県中央工業高等学校	現場見学会	
	新潟県建設業協会	事業部	未定	7～10月	新潟工業高等学校	現場見学会	
	新潟県建設業協会	事業部	未定	7～10月	新津工業高等学校	現場見学会	
新潟	新潟県建設業協会	事業部	会員企業	7～10月	建設系高等学校等	インターンシップ及びデュアルシステム	
	新潟県	土木部監理課企画調整室	希望校	5月～	中学校及び普通高校	出前講座	
	長岡高専専門学校	長岡国道事務所	長岡高専専門学校	不明	3年生	来年のインターンシップ、再来年の進路決定にあたり、建設分野の仕事や土木行政について、知ってもらう為の学校内で連増講座を行う。	本局、信濃川、湯沢砂防
	長岡技大科学大学	長岡国道事務所	不明	不明	メキシコ留学生	長岡技術大学のメキシコの留学生が八十里の現場見学を実施。	
	塩沢商工高等学校	長岡国道事務所	不明	不明	1年生	塩沢商工高1年生が建設を知るために八十里越現場を見学	
	塩沢商工高等学校	長岡国道事務所	不明	不明	2年生	塩沢商工高2年生が建設を知るため柏崎トンネル見学(2年生)	
	加茂農高等学校林	長岡国道事務所	不明	不明	2年生	加茂農林高等学校の環境緑地科の2年生が現場見学	

	塩沢商工高等学校	長岡国道事務所	不明	不明	3年生	高校生がインフラの老朽化対策を知るために橋梁点検実習を体験	
	長岡高専専門学校	長岡国道事務所	不明	不明	3年生	長岡高専生が建設を知るために柏崎バイパス、八十里越現場を見学(終日)	
	日本建設業連合会北陸支部	新潟市教育委員会	未定	7月下旬	小学生高学年及び保護者	新潟地区を中心とした小学生高学年と保護者を対象にして、比較的規模の大きい建設工事現場の見学を通じて、建設業の魅了くと公共インフラの役割について知ってもらう。	
	日本建設業連合会北陸支部	長岡市教育委員会	未定	7月下旬	小学生高学年及び保護者	長岡地区を中心とした小学生高学年と保護者を対象にして、比較的規模の大きい建設工事現場の見学を通じて、建設業の魅了くと公共インフラの役割について知ってもらう。	
	日本建設業連合会北陸支部	新潟大学、長岡技科大、長岡高専	未定	9月中旬	学生等	新潟大学、長岡技科大、長岡高専の学生を対象にして、比較的規模の大きい建設工事現場の見学を通じて、建設業の担い手確保に向けた活動を展開する。	
	北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会(新潟県部会)	北陸地方整備局 企画部企画課	朱鷺メッセ(予定)	11月頃(予定)	学生等	新潟県下越及び中越地方の建設系の学生・生徒を対象として将来の進路決定の参考にしてもらうことを目的に、合同企業セミナーを行う。「Made in 新潟」と合同開催を予定。	
富山	(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部富山事務所	富山事務所事務局	富山大学都市デザイン学部	未定	富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科	富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科の新3年学生に対し、就職説明会に参加し、建コン協の仕事・役割を説明し、質疑応答等を実施	
	日本建設業連合会北陸支部	工学部を有する大学等	未定	未定	大学生	毎年、西部地区(富山県、石川県)の大学、高専の学生を対象にして、比較的規模の大きい建設工事現場の見学を通じて、建設業の担い手確保に向けた活動を展開する。	
	利賀ダム工事事務所	利賀ダム工事事務所 調査設計課 河村 0763-33-4761	南砺市内	6月～10月	県内建設系高校・大学	【現場見学】ダム事業や橋梁工事等の現場を見て、体験してもらうことで建設業界の魅力を伝える	
	利賀ダム工事事務所	利賀ダム工事事務所 調査設計課 河村 0763-33-4761	各校	通年	県内建設系高校・大学	【出前講座】ダムが必要とされる理由から、最近話題の地域振興に寄与するダム事業まで、幅広く紹介。顕在化している気候変動を見据えた最近の治水事業における取り組みを紹介。	
	国土交通省 立山砂防事務所 一般財団法人 富山・水・文化の財団	一般財団法人 富山・水・文化の財団	立山カルデラ等	7月～8月 (2泊3日)	県内の高校生以上、20歳までの男女学生	立山カルデラでの大自然と、富山平野を土砂災害から守る砂防事業について、実際に砂防工事を体験し、現場で働く人達の苦労や気概に触れ、立山の砂防事業についての認識を深めていただく。	建設系の高校生の参加を依頼
	富山河川国道事務所	富山河川国道事務所 工事品質管理官	富山市内	通年	普通科高校	大学選定時に建設系学科を選択していただくよう、建設業の魅力及び国土交通省の魅力を発信することで、担い手確保を図る。	

令和2年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：（一社）日本道路建設業協会北陸支部

- ・小学生を対象にした「出前講座」（職業紹介）

令和2年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：日本建設業連合会北陸支部

親子工事見学の実施時期を夏休み直後としていることから、近年、猛暑対策を重視せざるを得ないことから、引き続き半日行程を検討していきたい。

また、学生を対象にしている市民現場見学会については、1現場に関してもっと掘り下げた内容にするよう検討していきたい。

令和2年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：北陸技術事務所

●ほくぎひろば（水質体験学習）

小中学校から依頼があった場合に、身近な水を簡単な水質試験により比較・卓見してもらうことで水環境改善への関心を醸成します。

●ほくぎひろば（交通バリアフリー体験学習）

「交通バリアフリー体験ひろば」において、車いす体験、視覚障害者体験、高齢者体験の3つの体験をとおして、バリアのある生活の大変さとバリアの無い街づくりの大切さを学んでもらいます。

●ほくぎひろば（防災学習）

災害対策業務についての説明を聴く、災害対策車両・災害対策機械の見学、また、降雨体験装置による雨の降り方の体験をとおして、災害の恐ろしさ、避難の重要性、命の大切さを学んでもらいます。また災害に強いまちづくりについて考えるきっかけになることを期待します。

●北陸技術事務所HP（<http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/>）の映像・動画の紹介

北陸地方整備局の雪や除雪、災害対応車両などに関する映像・動画をHPにアップしておりますので、災害に関する学習や人材育成に役立ててください。

*雪害・除雪記録映像アーカイブ

: <http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/movie/index.htm> |

令和2年度の活動予定（※自由様式）

団体名：一般社団法人 新潟県建設業協会

令和2年度も令和元年度と同様の下記活動を実施する予定

- ・小学生の現場見学会
- ・中学生等の「出前講座」
- ・高等学校の現場見学会
- ・インターンシップ及びデュアルシステム
- ・建設業就職合同説明会
- ・建設写真コンテスト等

新規の取り組み予定なし

令和2年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：黒部河川事務所

1. 令和2年度の見学現場について、学校側の意向等も踏まえつつ、水系一環の事業に取り組んでいる事務所の利を最大限活かし、計画したい。
2. 砂防事業について、令和元年度は出水等により調整が出来なかったが、桜井高校土木部（部活動）を対象に夏休み期間中に砂防現場（トロッコ乗車）の見学を予定したい。
※現場への交通手段の制約上から活動対象を予定。
3. 各活動に際し、引き続き、建設業協会入善支部において共催の立場で協力をお願いしたい。
4. 活動の取り組みにあたっては、学校側の意向等も踏まえ、建設業協会入善支部から協力を得つつ、柔軟に活動内容へ反映できるよう対応し、各生徒が将来の選択肢として印象深いものとしたい。

令和2年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：富山県地質調査業協会

担い手確保の観点から、来年度も引き続き下記の取り組みを進めていきたい。

- 1 当協会が主催する国内の防災事業の現地調査において、会員技術者と一緒に富山県立大学学生の参加を考えている。
学生から、その成果を毎年2月に開催する技術講演会での発表をお願いしていきます。
- 2 子供防災教室（立山カルデラ砂防勉強会）を開催し、子供たちにカルデラ内の防災事業の砂防を勉強し、常願寺川の自然や砂防・治水などについて学び、防災の大切さを関する教育の向上も目的としています。来年度は富山市内の小学校6年生を対象に考えています。
また、子供たちの勉強の成果の発表を予定しています。
来年度で8回の開催となります。

この小学校では、双方が連携する形で、立山カルデラに案内する前に国土交通省立山砂防事務所へ山砂防の防災対策の重要性の説明や砂防の模型実験を行うなどの出前講座などの勉強会を行っていただくようお願いしたい。

令和2年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：日本建設業連合会北陸支部

学生を対象にしている市民現場見学会については、大学学科の授業としての位置付けを具体化するために、1現場に関してもっと掘り下げた内容にするよう検討していきたい。

令和2年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：利賀ダム工事事務所

利賀ダム工事事務所による出前講座（建設系の高校・大学向け）

①対象：富山県内の建設系の高校・大学

※令和元年10月25日に石川工業高等専門学校環境都市工学科3年生44名に実施しており、令和2年度は富山県内校にも展開したい。

②実施時期：未定（各校との調整）

③出前講座の内容

1) 利賀ダム工事事務所について(事業概要)

利賀ダム工事事務所の事業概要に加え、北陸地方整備局の組織構成を含め紹介

2) ダムの役割について

そもそもダムが必要とされる理由から、最近話題の地域振興に寄与するダム事業まで、幅広く紹介

3) 最近の話題提供について

顕在化している気候変動を見据えた最近の治水事業における取り組みを紹介

<PR>

北陸地方整備局は、社会資本の整備などを通じ、北陸の地域づくりを支援しています。

しかしながら、「北陸地方整備局」は、国の行政機関として、すこしわかりにくく、遠い存在になってしまっていることが否めない状況にある中、北陸地方整備局が行っている事業や施策について、知って頂くとともに、ご意見やナマの声を聞かせて頂く場として「出前講座」を実施しています。

出前講座は、北陸地方整備局職員の知識や経験を活かして、様々な興味・疑問・批判などのできるかぎり、わかりやすくお答えしており、講座は、小中学生や高校生の総合学習にご活用頂けるものから、専門家などを対象としたものまで幅広く用意しており、出前講座を通じ、北陸地方整備局のことをもっと知って頂きたいと考えています。

令和2年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：（一社）石川県建設業協会

◎令和元年度の取り組み事業（現場見学会・意見交換会・インターシップ・派遣研修・ラジオ放送によるPRなど）を継続するとともに、以下の内容の拡充を図る。

1. 普通高校への意見交換会の拡充を図るとともに、現場見学会を通して各校の普通科高校生に建設産業の社会的役割や魅力について広く理解を求める。
2. 高校生の保護者との意見交換会を図るため、生徒の進路決定に影響力を持つ保護者に建設業界のことを理解してもらう。